秦野市
ハザードマップ
― 東地区 ―

風水害時の避難場所

○自宅の災害リスク

自宅が警戒区域や浸水想定区域（○m）に入っているかをチェックしておきましょう。

○私の避難場所

風水害時の避難所は公民館です。

○避難方法・自宅からの時間

マイ・タイムライン

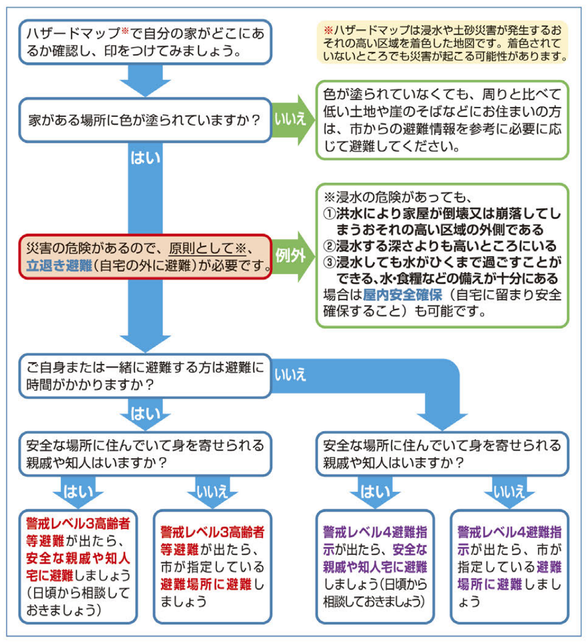
自分自身の避難行動計画を記入しましょう

マイ・タイムラインとは、風水害の発生に備えて「いつ」「だれが」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画のことです。各タイミングにおける自分の行動を記入しましょう。

状況に応じた避難行動

避難行動判定フローチャート

このフローチャートは、はい・いいえで自分がとるべき避難行動を確認することができます。ハザードマップで自宅の災害リスクを確認するとともに、「自らの命は自らが守る」意識を持って、自分のとるべき行動も平時から確認しておきましょう。



警戒レベル

警戒レベル4避難指示 で、危険な場所から全員避難してください。

警戒レベル	状　況	避難行動等	気象情報等（気象庁が発表）	避難情報等（秦野市が発令）
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	大雨特別警報	緊急安全確保
	（警戒レベル4までに必ず避難！）			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	土砂災害警戒情報	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	大雨警報 洪水警報	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報	
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	

※避難情報は必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。
また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

警戒レベル5は、
すでに安全な避難ができず
命が危険な状況です。
垂直避難や水平避難
などで直ちに身の安全を
確保してください。

避難に時間のかかる
高齢者や障害のある人は、
警戒レベル3高齢者等避難で
危険な場所から避難
しましょう。

※最新の情報は内閣府ホームページをご覧ください。
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/（内閣府 HP）

防災気象情報の入手方法

秦野市が提供する情報

秦野市では防災行政無線やウェブサイト等を用いて、市民の皆さんに情報を発信しています。災害時には市民の皆さんも積極的に情報を入手し、自身の身を守るために活用してください。

秦野市ホームページ 検索

最新の気象情報や雨量情報、河川ライブカメラなどを確認できます。

はだのWEBマップ 検索

防災に関する地図情報を皆さんに公開・提供するサイトです。

秦野市防災行政無線 検索

屋外スピーカーから、市内全域に緊急情報などを放送します。
雨風が強い場合や屋内にいる場合、建築物等の地理条件などによって放送が聞こえづらくなる可能性があります。防災行政無線の放送内容は、市ホームページや登録制の緊急メール、テレホンサービスで確認することができます。
電話番号は市ホームページ上で確認できます。

国や県が提供する情報

国土交通省 川の防災情報 検索

全国の雨量・水位情報、河川情報カメラ画像を確認できます。

気象警報 注意報 検索

気象庁から発表される気象警報・注意報を確認できます。

キキクル「危険度分布」 検索

大雨や洪水による災害の危険が、どこでどのレベルで迫っているかを地図上で確認できます。

神奈川県 雨量水位情報 検索

神奈川県内の雨量、河川の水位・カメラ画像を確認できます。

神奈川県 土砂災害情報ポータル 検索

県内の土砂災害の危険度などの情報を確認できます。

e-かなマップ 検索

県内の「くらし」、「防災と安全」などの地図情報を確認できます。

土砂災害から身を守る

土砂災害防止法について

神奈川県は、がけ崩れなどの土砂災害から県民の生命を守るため、土砂災害防止法にもとづき、土砂災害特別警戒区域と土砂災害警戒区域を指定しています。
秦野市に影響のある「土砂災害警戒区域」は416区域、「土砂災害特別警戒区域」は345区域です。（令和3年5月14日　神奈川県指定）

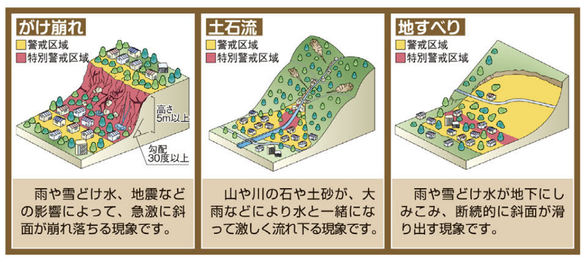
◆ 土砂災害警戒区域

がけ崩れ等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

◆ 土砂災害特別警戒区域

がけ崩れ等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、一定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害の種類



状況に応じた避難行動

● 水平避難

避難指示や災害の前兆現象があった場合は早めに行動し、避難場所や土砂災害警戒区域外の親戚の家など、安全な場所へ避難してください。

● 垂直避難

避難場所への退避が困難な場合は、近くの堅牢な建物の2階以上へ避難してください。
夜間や屋外への避難が危険な場合は、屋内のがけから離れた2階の部屋などに退避してください。

洪水被害から身を守る

想定される洪水

近年、台風や集中豪雨による洪水や、がけ崩れなどの被害が全国各地で発生しています。市街化の進行により、雨水を貯えていた田畑や森林が大幅に減少し、道路の舗装や排水路整備が進み、雨水が一気に河川に流れ込む傾向にあります。また、急に雨雲が発生するゲリラ豪雨が近年頻繁に起こっています。

● 外水氾濫

河川から水があふれておきる洪水
大雨などにより川の水が増えて水かさが上がり、堤防に圧力がかかります。
堤防いっぱいに水が増えると、やがて堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊して勢いよく水が街に襲いかかります。

● 内水氾濫

排水路などから水があふれる浸水
通常、街に降った雨は道路側溝や水路などにより川に排水されます。しかし、大雨により、排水先河川の水位が上がると排水されにくくなったり、浸水することもあります。

雨の降り方と注意報・警報の関係（目安）

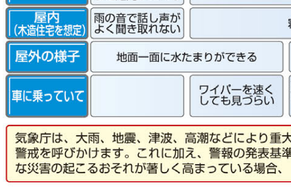
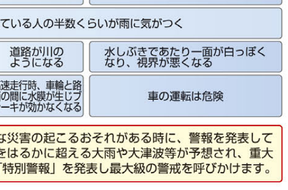
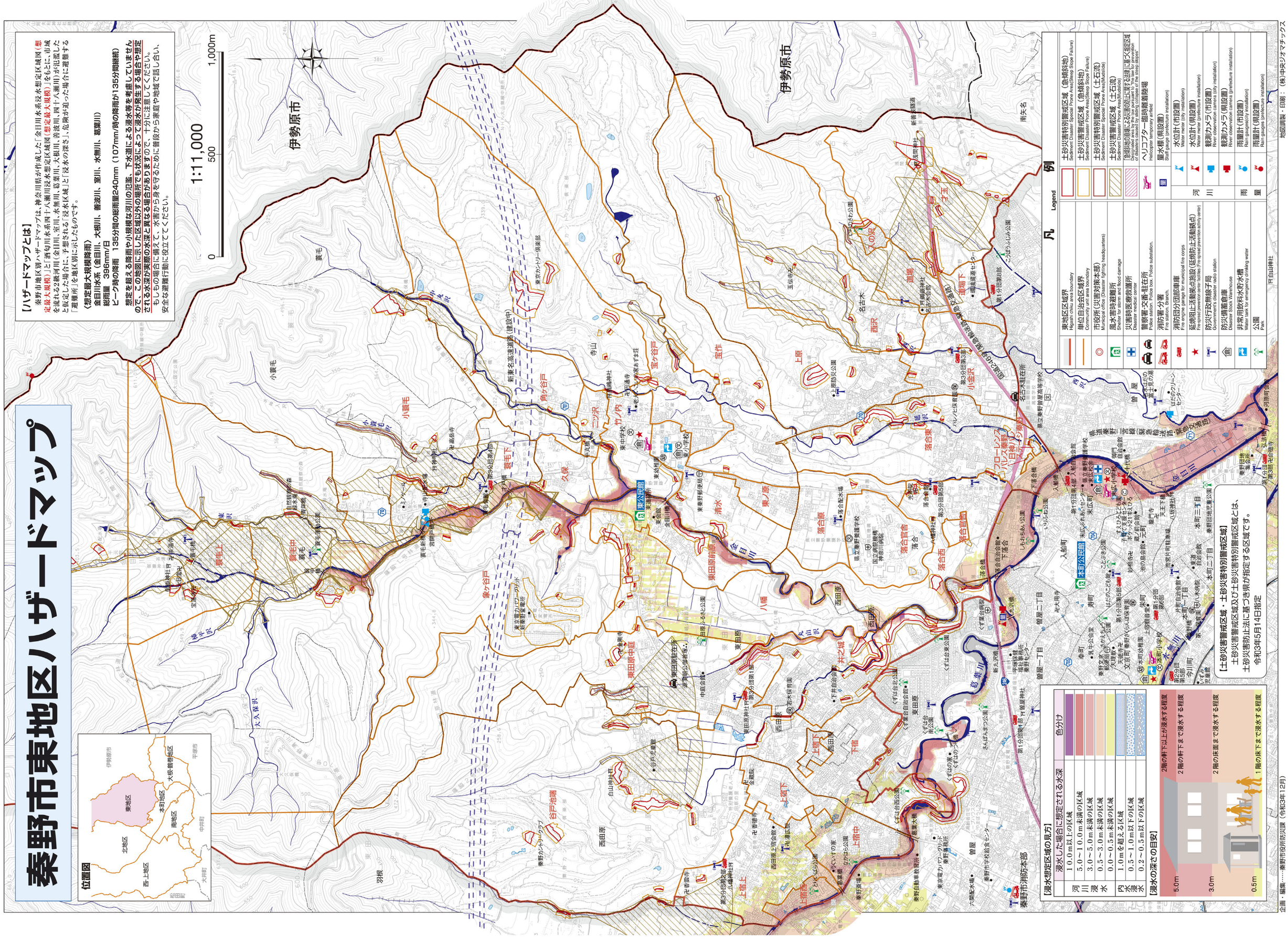
発表目安						
						記録的短時間大雨情報
					土砂災害警戒情報	
				大雨注意報	大雨警報	大雨特別警報
1時間雨量(mm)	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm以上	
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる	
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘はまったく役に立たなくなる		
屋内（木造住宅を想定）	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく				
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる		
車に乗っていて		ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険		

気象庁は、大雨、地震、津波、高潮などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼びかけます。これに加え、警報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合、「特別警報」を発表し最大級の警戒を呼びかけます。

ハザードマップの使い方

1 マップから自宅を見つける
2 避難する場所を確認する
3 安全な避難経路を決める
4 実際に避難経路を歩いてみる

5 家族で災害時の対応を話し合う



6 学校やご近所で考える